

# 八中だより

平成22年7月20日

第3号

市川市立第八中学校

校長 山元 幸恵

## 1 学期を振り返って

生徒数506名でスタートを切った今学期でしたが、転入生が1名加わり507名で終業式を迎えることになりました。全校生徒で燃えた体育祭、班の団結力が問われた修学旅行や校外学習と大きな行事が続き、生徒も職員も大忙しでしたが、生徒一人ひとりが多くの貴重な体験を積むことができ、一回りも二回りも成長できた学期だったと思います。

その一方、二学期に向けての課題も明らかになりました。

課題1 けがを無くして、安全な学校を実現しよう。



今学期は、けがをした生徒が大変多かったです。もちろん、体育や部活動に一生懸命に取り組んでいて、安全にも配慮していたのに事故が発生し、けがをしてしまった例もありました。しかし、「よく考えて行動するよう指導を受けていた」「最近、落ち着きがないと注意を受けていた」にもかかわらず軽はずみな行動でけがをしたり、けがをさせてしまったりした生徒がいたことは、大変残念なことです。ささいな気のゆるみを取り返しのつかないけがにつながる場合があります。安全に関する管理体制を見直すとともに、一人ひとりの生徒が危険を予知し、自覚ある行動が取れるよう、一層指導の充実を図っていきたいと考えています。

課題2 確かな学力を身に付けるため、努力できる生徒になろう。

学校は、豊かな心と健康な身体を育むとともに、自分の力で生きていくための基盤となる確かな学力を培う場です。そして、学力は、生徒自身の日々の努力によってのみ身に付くものです。一時間一時間の授業にどれだけ集中できているか、家庭学習には毎日きちんと取り組んでいるかにかかっているのです。

ところが、残念なことですが生徒の中には、授業中に先生の説明を聞かずボーとしていたり、授業に関係のない質問やおしゃべりで他の生徒の学習を邪魔したりした生徒が一部ですが見られました。今、やるべきことができない者は、明日になっても何もできません。苦手だから、面倒だからと言い訳をする者は、自分を向上させることも、夢をかなえることも難しいのではないでしょう。

新学期、最初の授業から集中できるよう、この夏休みは、苦手な教科や単元の復讐を中心に、毎日家庭学習に取り組むよう、家庭でもご指導ください。学校としても、二学期は、授業規律の確立と授業の充実に全力で取り組んでいきたいと考えています。

## 第1回授業研究会を実施して

本校では、一人ひとりの教員の授業力の向上を目的とした授業研究会を、原則年に2回行っています。7月2日、本年度第1回目の授業研究会を実施いたしました。今年度の重点目標の一つである「生徒一人一人の良さを引き出し生かす授業」の実現を目指し、「生徒が主役」をキーワードに教科ごとに授業の構想を練り、講師を招いて授業を展開しました。

この授業研究会は、市内各中学校や近隣小学校にも公開しましたので、講師の先生方と合わせて学校外から多くのお客様にも参観いただきました。また、授業のようすを保護者の皆様にも見ていただこうと、この日は学校開放日としました。平日にもかかわらず、大変多くの保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

いつもと違った雰囲気にはじめは少し戸惑っていた生徒たちですが、次第に授業に引き込まれ、熱心に課題に取り組んだり、楽しそうに活動したりしている様子が見られました。

午後行われた分科会は、教科ごとに『生徒が主役』の授業になっていたか「生徒の良さを引き出し生かせていたか」など、参加者の間で活発な意見交換が行われ、講師の先生方からは豊富な経験に基づいた助言をいただき有意義な会になりました。

保護者の皆様からもアンケートにご記入いただく形で、忌憚のないご意見をいただきました。生徒の挨拶や教室環境のよさ、授業内容や授業中の生徒の様子を評価してくださるご意見もありましたが、生徒たちが授業を受ける態度や姿勢があまりよくないのではないかと、心配してくださる意見も複数いただきました。いずれも貴重なご意見として真摯に受け止め、よい点を伸ばし課題は改善するべく、具体的な方策を検討しているところです。

なお、本年度は、二学期に行う2回目の授業研究会は学校開放日に当てておりませんが、別に1月に学校開放日を予定しています。



## 先輩の話聞く会を終えて

7月14日、進路学習の一環として「先輩の話聞く会」を市川市文化会館で実施しました。この会は、本校卒業生を講師に招き、受験体験や進路決定までの経緯等を3年生に紹介してもらうために開く会です。今年は、高校生4名と大学生2名に講師をお願いしましたが、部活動などで一緒に汗を流した先輩もメンバーに入っており、生徒たちは、親近感を持って、熱心に先輩のお話に耳を傾けていました。

「将来の目標達成に直結した高校を選び、今も目標に向かって努力している」「当初の第一希望ではなかったけれど、学校見学で大変気に入ったので進学、充実した高校生活を送れた」「体験入学で、自分の適性がわかり、将来の方向性も見えてきた」等、各先輩たちは、貴重な体験談を熱く語ってくれました。後輩の役に立ちたいと願う先輩の温かい気持ちと、その思いを真剣に受け止めようとする3年生の姿が相まって、心に響くすばらしい会となりました。本校の伝統の一つとして、来年、再来年とこの会を大切に続けていけたらと考えています。(参加して下さった先輩:会田 愁さん 河合 怜奈さん 佐藤 雄紀さん 渡邊 明日香さん 谷口 ゆかさん 畔田 和人さんの6名です。)

9月1日、八中生全員が元気に学校に集えますよう、ご協力をお願いします。